

# ふく チャレ



## 大熊町から、新しい農業 モデルを発信していきたい

草刈り隊の牛たちと。農業を「軽くて・キレイで・カッコイイ」の3Kと言われる魅力的な仕事になるよう、新たな農業モデルを作りたいと、ビジョンを話す谷さん。

### 震

災時に東京で働いていた谷さんは、避難できなかった牛などの家畜が餓死しているというニュースを見て、支援を必要とする人と支援したい人をつなぐ活動を始めました。相双地区で農家さんの声を集め、一緒に柵を作り、生き残ってさまよっていた牛を集めることからスタート。

帰還困難区域内で餌を継続して与えるという課題を、荒れてしまった農地で牛を飼い、雑草を食べてもらうことにより解決しようと、2016年に大熊町に「もーもーガーデン」を開設しました。

「はじめは素人の私にできるのかといぶかしがる人もいましたが、頑張っている様子を見てもらうことで、協力してくれる人も増えました」と谷さん。近年は耕作

一般社団法人 ふるさと  
と心を守る友の会  
谷 さつきさん



園内で収穫した柿を干し柿にして牛の餌にするなど、フードロス問題にも関心を寄せています。



県内外から集まってくるボランティアの方たちと。この日初めて参加したという人もいました。

【ホームページ】  
もーもーガーデン <https://moomowgarden.or.jp>

放棄地に牛を派遣し災害時の家畜の避難所づくりにつながります。最先端の地方活性化モデルとして情報発信していきたいと話すが、谷さんは、この活動を廃炉後に町を支える産業にしていきたいと未来を見つめていました。



牛が草を食べ再生させた、美しい里山の農地